

[声明] 手続き的正当性が全くない違法なサード配備を直ちに中断せよ!

国防부는 4 月 11 日午後 2 時 20 分ごろから 3 時 30 分まで、真昼に住民たちに見せつけるように 10 機のチヌーク・ヘリコプターを動員して工事装備をロッテゴルフ場敷地に運び入れた。

2016 年国防部のサード配備予定地の発表があつて以降、7 月 17 日リュ・チェスン国防政策室長は、『アメリカ軍当局と協議を通じてサード配備が決定された慶尚北道の星州に対して、3 段階(配備前、配備完了後、サード運用中)にわたって環境影響評価を実施する』とはっきりと表明したことがある。また 7 月 19 日、ハン・ミング国防部長官は、『これから色々な形態で住民たちと接触して地域社会の心配を解消していこうと考える。説明会、討論会などは安全・住民健康・環境・住民の心配解消などを最優先課題に据えていく』と語ったことがある。

だが国防부는、電磁波危害評価と住民同意を経なければならない戦略環境影響評価を公然と実施するといったくせに、サード配備に必要な敷地規模も決まっていない状況で国防부가任意に小規模環境影響評価を実施することで脱法行為をしている。その上、小規模環境影響評価の結果も出ていない時点で、さきに工事装備を公然とヘリコプターに載せて運び出すという姑息な手段をろうしている。そして村の住民たちに対して不安と脅威を助長しようとするかのように、わざわざ村の上空を通過してチヌークヘリが入ってきた。しかしチヌーク 10 機が装備を下ろして戻る時は、ただの 1 機も村の上空を通過していかなかった。これは違法なサード配備を全身で阻止しようとするソソン里の住民たちと平和市民の決意をくじこうとする国防部の卑劣なふるまいに他ならない。だが、国防부는はっきりと知るべきだ。卑劣な方法を動員してソソン里の村の上にヘリコプターを送りこみ、小さな工事装備をいくつか運んだからといって、住民たちのサード配備阻止に対する意志が多少でも緩んだはずだと勘違いしないことを願う。国防부가工事装備を搬入したとしても、工事を始める瞬間、私たちは国防부가堂々と不法を行うということを再び満天下に公表するだろうし、法的対応をしていこう。

国防부는もうこれ以上、手続きと法を無視したサード関連装備の搬入と不法なサードの配備を強行せず、直ちに中断せよ!!

国防부가各種の不法とけち臭い手を使うとしても、発射台とサード装備は結局のところ住民たちが身をもって食い止めている村の前の道を通して入ってくるほかはない。そのために私たちはソソン里の道を平和地域と宣言し、いかなるサード配備装備関連車両と装備も通過することを許さないし、死即生の精神でサード配備を断固として食い止めることを表明する。

2017 年 4 月 11 日
違法なサードは元から無効 ソソン里状況室